

議 事 概 要

- 1 会議の名称
令和5年度第1回長久手市中央図書館運営協議会
- 2 開催の日時
令和5年7月11日（火） 午前10時から11時10分まで
- 3 開催場所
長久手市中央図書館 2階 AVルーム
- 4 出席者
(副委員長) 神子 有理子
(委員) 堀場 哲明
吉田 真理子
吉村 直彦
村上 圭三

(事務局)
教育次長 川本 保則
中央図書館長 二之部 香奈子
図書係長 水野 香織
同係専門員 村田 直哉
- 5 欠席者
(委員長) 伊藤 真理
- 6 会議の公開・非公開
公開
- 7 傍聴者
なし
- 8 審議の概要
報告事項
(1) 令和4年度事業報告
ア 利用状況
イ 第2次長久手市子ども読書活動推進計画
令和4年度及び全体（5年）実績一覧

- (2) 図書館利用者アンケート結果報告
- (3) 長久手市中央図書館の管理及び運営に関する規則改正（案）
- (4) その他

9 問合先

長久手市教育委員会 中央図書館

TEL 0561-63-8006

議 事 録

事務局

会議成立確認

本日、伊藤委員長は体調不良のため欠席となりました。そのため、要項第4条第4項により、副委員長の神子委員に代理で議長をお願いします。

副委員長

あいさつ

事務局

それでは、議事進行の方をお願いします。

<報告事項>

副委員長

それでは、報告事項(1)令和4年度事業報告について、事務局からお願いします。

事務局

【資料1～2を事務局から説明】

副委員長

何かご質問などはありますか。

委員

ヤングアダルトの本の貸出数が増加しているが、何か理由がありますか。

事務局

この5年間でヤングアダルトコーナーの書架の拡大とそれに伴う冊数の増加、教養の本や今後の進路等の参考になる職業の本など、本のジャンルも増やしましたので、貸出が増えたのではと考えています。

また、図書館司書によるテーマを決めて展示を行ったり、新しく入った本をホームページで紹介したりしていますので、それも貸出数の増加につながったのではと考えます。

委員

目標達成率は第1次の5年間と比べて同じような数値ですか。

事務局

第1次の目標達成率はおよそ90%でしたので、それに比べたら減少しております。しかし、令和2年度はコロナウイルス感染症対策で、おはなし会やイベント等が一切できませんでしたので、それを考慮すれば同じような数値ではと考えます。

委員 「保育園・幼稚園の読書環境の整備充実」の項目について目標達成率が他に比べると低いと思います。来年また2園ほど増えると思いますが、目標達成率を小中学校並に上げることができないでしょうか。

事務局 保育園の連携事業については令和5年度から拡大をしております。令和4年度は資料のとおり3園となっておりますが、令和5年4月から6園に対して、毎月5冊ずつ、図書館司書の選定した本を提供しています。今後さらに保育園側の意見を伺いながら提供できる保育園が増えればと考えています。
また、始めは図書館司書が勧める本を提供していましたが、現在は保育園側から、本の内容についてのリクエストをいただくこともあり、保育園に合ったオリジナルの内容で本を選書できる形になってきています。

委員 活字というのは大事だと思いますので、よりよい教育の一環として、できるだけ連携していただいて、小さいときから読み聞かせ等で図書館の本を使用してもらい、それが小学校、中学校に続いていく形での連携をお願いしたいと思います。
令和5年以降のものがなにも記載されていませんが、令和5年からは何もやらないということですか。第3次はないのですか。

事務局 第3次については昨年度策定をしています。前回令和5年3月の協議会で、今年度の目標値についてご承認をいただきましたので、今回の資料には入れませんでした。今年度も第3次の計画に基づき進めてまいります。

委員 学校の関係者として申し上げますが、重点施策の5-1学校連携司書の派遣について、学校としては大変助かっています。現在5人の連携司書の方がいますが、最終目標が9人となっております。1校につき1人となりますので、ぜひ頑張ってくださいと思っています。よろしく願いいたします。また、調べ学習の達成率が低くなっていますが、これはタブレット端末が全生徒にいきわたってしまして、調べ学習の中心がタブレット端末になっていますので、致し方ないのかなと思っています。なので、本でなければできないことがあれば良いのではと思います。タブレット端末と本の住み分けができると良いのでは考えます。また5-4の企画展示については、子どもたちは大変楽しみにしているようで、達成率も600%、300%ということでたくさんやっていただいているんだなと思いました。ありがとうございます。

事務局 調べ学習についてですが、確かに目標達成率が低い値となっておりますが、この数値は中央図書館から各小中学校に本を届けた数値となっております。現在、

各学校の図書館の本が充実してきました、中央図書館の本を持ち出さなくても、学校の図書館の本で、調べ学習の対応ができているという報告を受けています。更に活用していただけるように進めてまいります。

委員

小さい子どもが家族にいまして、図書館で毎週のように借り、保育園でも本を借りるという話を聞いていますが、小学生、中学生、高校生がどんな本を読んでいるのかが把握できていません。運営委員の方にベストテンのような、今のような本が手に取られているかを教えてもらえると子どもたちに話題を提供できるので、教えていただけるといいと思いました。

事務局

どのような本が人気があるかについてですが、小説の場合は、直木賞や芥川賞受賞作家の本や本屋大賞受賞の本がベストセラーになる傾向にあります。それらの賞を受賞した若手の作家の本をヤングアダルトのコーナーに展示しております。教養の本については、職業に関する本が人気があると思います。また、政治経済、時事問題を中高生向けに易しく解説している本は、中高生だけでなく、大人の方にも人気があります。ヤングアダルトコーナーは、30代、40代の方からも貸出が多いです。幅広い年齢の方から利用いただけていて良いのではと考えています。

委員

協議会の委員になってから1年経ちます。最初、図書館というのは、静かに自習をする場所、わからないことがあったら調べに行くだけの場所と思っていたのですが、図書館の取り組みをみますと、レファレンスや読み聞かせなど、どのように本の良さを伝えていくかというところに力を入れているというのを感じます。読書手帳の普及について5年間の達成率150%ですが、令和2、3年はコロナの影響で数値が半分になっています。しかし、令和4年の冊数の回復はすごいと思いました。読書手帳の普及について、どのように行ったのですか。

事務局

読書手帳については、毎年授業の一環で、市内の小学3年生が来館する図書館見学の際に1人1冊ずつ配布をしています。その際にPR等もさせていただいています。また、ホームページに読書手帳の案内と印刷できるデータを掲載していますので、自分で印刷して読書手帳として活用していただけるようにもしています。子どもだけではなく、大人の方も利用していただけますので、1階の書棚にも読書手帳を配置して手に取っていただけるようにしています。図書館見学で読書手帳をもらったことをきっかけとして、本を40冊読んで、読んだ本のタイトルを読書手帳に記入して、記念品と交換するために図書館に持ってきてくれる子が増えてきたという状況です。そして、新しい読書手帳にまた読んだ本を書いていく子も多いです。ただ、図書館見学に来て読書

手帳を渡しても、年齢を重ね読書手帳の事を忘れてしまう子もいます。第3次子ども読書活動推進計画を策定する際に事前にアンケートを行いました、その時に読書手帳のことを知らないという回答が多かったのも、周知の努力が必要と感じています。活用している子、していない子の差が出ているというのが課題だと思っています。

委員 アンケートではどのような回答だったのですか。

事務局 7割が読書手帳を知らない、使っていないという回答でした。令和4年度まで650枚配布しましたが、読書手帳と交換で配布した記念品が140個と2、3割という状況ですので、配布した分が記念品と交換されるのが望ましいと考えています。

委員 まずは2、3割記念品と交換されているならよいのではないかと思います、継続は力になりますので、ぜひ続けていってください。

副委員長 続きまして、(2)図書館利用者アンケート結果報告の説明をお願いします。

事務局 【資料3を事務局から説明】

委員 事務局は、この意見についてどう思われますか。

事務局 アンケートの目的は、令和6年度より一部業務委託を行う際に、どのようにサービスを拡大するかを検討するために行いました。この後、資料4でも説明させていただきますが、図書館として貸出冊数の増加というサービスの拡大を考えております。それが自由意見等にも含まれていましたので、今回のサービス拡大については、利用者の望んでいるものであることの確認ができました。そして他の御意見も参考に、サービスを拡大できたらと思います。

委員 7割の方が「満足」、「やや満足」とありますが、ご意見もたくさんあると見受けられますので、かい離があるのではと思いました。満足と回答した中でこのような意見を言われているのか、または不満の方がこの意見を記入しているのでしょうか。限りある予算の中で駐車場のことや、学校連携司書のことなど図書館全体で考えて少しでも解消していければよいと思います。

委員 現在の人口に対して図書館の規模が合っていないというような意見がありますが、他の市町で、役所や関係施設に本を貸出しできる場所があります。中央図書館まで来て借りるといのが大変なので、例えば共生ステーション等で

貸出ができるような仕組みがあれば良いのではと思いました。また、マイナンバーカードが普及してきていますので、行政サービスが受けれる支所のような場所も増えていくと思いますので、そのような場所で本の貸出ができるようになると思うので、子どもだけで行って本を借りるといったようなこともできると思います。規模の大きい話ですし、予算の関係もありますので、頑張っていたらと思います。

事務局

図書館の分館に換わる機能として、児童館連携というのを始めております。1つの児童館につき200冊の児童書を中央図書館から提供しています。連携事業用の本として図書館に配架する本とは区別して用意してあるものです。それを3年に1度、本の入替えを行っています。また、放課後子ども教室（西、南、東、北）の方に合計1,440冊の本を提供しております。同じく、児童クラブの方へも合わせて1,440冊提供しております。令和5年からは、市が洞共生ステーションで図書館の本を置かせて欲しいという要望がありましたので、毎月、共生ステーションの職員の方が図書館で本を30冊、テーマを決めて選んで共生ステーションに置くということを行っています。このような活動を増やせばいいと考えています。

委員

そのような場所に行けば本を借りれる、本を見れるというような情報発信が足りないのではないかと思います。

委員

放課後子ども教室、児童館は子ども部の管轄で図書館、学校は教育部の管轄かと思っています。また、放課後子ども教室と児童クラブの運営形態が変わると聞いております。情報発信等を行う上でも、学校側と児童クラブ側、教育部と子ども部での連携が必要だと思っています。

事務局

子どもに対する施策で、新しく変わる部分もありますので、子ども部と調整して、発信力の足りない部分も補えてるような形で進めていきたいと思っています。

委員

生涯学習の一環として見ている中で、子ども部も巻き込んでいく必要があるのではないかと考えていますので、うまく進めていただけたらと思います。

委員

市が洞共生ステーションの方が本を取りに来られているという話ですが、他の場所ではないのですか。

事務局

現在は、市が洞共生ステーションだけです。

委員 定期的に本を持っていくということですが、その言葉だけ一人歩きして図書館が与えてるだけという印象があるのではと思いました。職員の方が選んで持っていくということで、どのような書籍が今、人気がある、興味があるというようなことが貸出されるということではつかめるので、それによって、今後図書館にどのような本を充実させていったら良いかということがわかると思います。情報の見える化というのがあった方がよいと思いました。

また、アンケートについて、いただいたご意見については、どうしても予算の問題があると思います。アンケートを採った後のアクションは難しいですが、これを具体的に及第点まで上げようとする数字で改善が見えないといけない部分もあると思いますので、頑張ってくださいと思います。

委員 ほとんどの方が満足していますが、一部の方が不満を持っているという状況で、いただいているご意見については、前から言われていることが多いと思います。市が動かないと改善できないようなことがほとんどだと思います。でも、逆に褒めてあること、例えば気持ちよく挨拶してくれるというような意見もあります。こういう方に朝挨拶してもらうととても気持ちが良いです。このような小さな事で満足感が上がることもあると思います。

副委員長 他にご意見はないでしょうか。それでは(3)長久手市中央図書館の管理及び運営に関する規則改正（案）の説明をお願いします。

事務局 【資料4を事務局から説明】

委員 予約についてですが、広域利用の方は、予約冊数の増加はないですが、これについて指摘をされた場合、どのような説明をされますか。

事務局 現状としましては、予約についてはベストセラーなどの本に何十件と集中することが多いです。そのような中で貸出期間を延長しようと考えておりますので、予約をして本が手元に届くまで、今より更に遅くなることが予想されます。そのようなことを総合的に考えまして、長久手市民の方を優先して行うのが良いのではと考えました。また、近隣の図書館では、広域の方は予約ができないという図書館もありますが、長久手では3冊は今までどおり予約していただけるので、ご理解いただきたいと思っております。

委員 市民の方を優先するということですね。

事務局 そのとおりです。

副委員長 近隣の図書館の貸出数などは確認されていますか。

事務局 はい、調査等をしております。

副委員長 10冊が多い印象ですか。

事務局 ICを導入しているかで分かれることが多いです。近隣ですと、日進市、尾張旭市がICを導入しておりますが、10冊貸出で運営をされています。

副委員長 その他ございませんか。ありがとうございます。
それでは、(4)その他ですが、事務局から何かございますか。

事務局 特にありません。

副委員長 それでは3のその他についてなにかございますか。

事務局 第2回の会議は令和6年2月頃を予定しております。

副委員長 それでは、これもちまして、第1回長久手市中央図書館運営協議会を終了させていただきます。
事務局にお返しします。

事務局 本日は、長時間のご審議いただきまして、誠にありがとうございました。